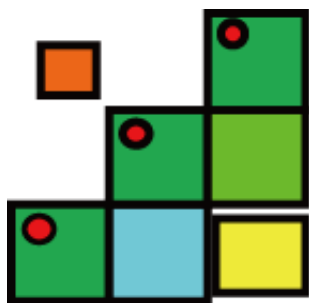




国臨協新潟地区会会報

朱鷺つと

2013年7月発行

第68号

発行者：桑村 良隆(新潟)
編集委員：中村 宏紀(さいがた)
霜田 由美子(西新潟中央)
菅井 めぐ美(新潟)



弥彦神社

- 平成25年度4月新潟地区人事異動挨拶
- 平成25年交流会報告
 - ・弥彦山ロープウェイ・登山・弥彦温泉
- 交流会に参加して
- 新潟・旬の魚たち
- 会員からの投稿写真・今後の予定・編集後記

新潟地区会 人事異動挨拶

転入者



国立病院機構
西新潟中央病院
臨床検査科

渡辺 靖 副技師長

この度4月1日付けで成育医療研究センターより西新潟中央病院に昇任で参りました渡辺です。よろしくお願い致します。西新潟中央病院は以前勤務した施設であり、4年ぶりの自宅からの通勤となりました。勤務経験のある施設とは言え、検査科スタッフの顔ぶれも約半数は変わり、電子カルテの導入などのシステム的な部分も新しくなり、さらに言えば自分のポジションも変わったことで、新しい施設に赴任したという気持ちで業務に臨みたいと考えております。

東京での4年間を振り返ると成育では、細菌検査室および高度先進検査室の二部署の統括業務を行い、国立病院機構関信ブロック主催の微生物検査講習会の企画など充実した日々を過ごして参りましたが、やはりそれなりにストレスは溜まるもの。そんな中、趣味のギター演奏（セッション活動）やライブ鑑賞などストレス発散に励み、その中でのアマチュアやプロのミュージシャン達との交流により、新たな交友関係も築けました。「趣味を持っていて（続けていて）良かった。」と強く感じた4年間でした。趣味に救われたといっても過言ではないという感じでしょうか。若い技師さんで「自分は無趣味だ」という方がいらっしゃいましたら、絶対に趣味を持つことをお勧めします。

最後になりますが、新潟出身でまた地元勤務することになったからには、新潟地区のために何かしら貢献したいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



国立病院機構
新潟病院
臨床検査科

山田 大助 副技師長

4月1日付けで横浜医療センターから新潟病院に昇任で参りました山田と申します。よろしくお願い致します。わたくし生まれも育ちも神奈川で、あまり神奈川から出たこともなく新潟に来たのも初めてです。また日本海を見るのも初めてです。新潟病院は海も山も近く、緑も豊かで大変馴染みやすく感じております。わたくしの自宅がある神奈川県秦野市も自然が豊かな地域で、最寄り駅は丹沢山麓の登山の玄関口にもなっており休日には登山をする方達で賑わっています。また海も近く休日には趣味の釣りを楽しんでいます。

職場は急性期の病院から慢性疾患の病院に変わり、環境が大きく変化しましたが、以前に同じような病院に勤務していたこともあり懐かしさを感じるところもあります。なにぶん新前の副技師長で戸惑うことも多々ありますが一生懸命頑張りたいと思います。また新潟のこともたくさん知りたいと思います。皆様これからどうぞよろしくお願い致します。



転出者



国立病院機構
茨城東病院
臨床検査科
赤堀 良道 副技師長

この度4月1日付けを持ちまして茨城東病院へ異動となりました。2009年から4年間、新潟地区会の一員として活動させていただき、皆様には大変お世話になりました。

赴任当初は今までと全く違った環境にとまどいもありましたが、少しずつ慣れるに従い日本海新潟を堪能させて頂くことができました。春は赤坂山の桜 夏は柏崎の花火大会 秋は松雲山荘の紅葉 冬は深々と降る雪そして雪・・・

何時も、検査科から見える米山を見て自分を元気づけて来ました。今思えば、あっという間に過ぎた4年間でした。

茨城に戻っても、皆様と過ごした新潟の日々を忘れることなく今後も精進して参りたいと思います。

最後になりましたが会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

退職者



大木 翔平 技師

この度、平成25年3月31日付けを持ちまして国立病院機構関東信越ブロック臨床検査技師を退職することとなりました。採用になり早4年。社会人としての立ち振る舞いから技師としての技術習得まで様々な経験を積ませて頂きました。また研修や学会発表など積極的にそのような場に出席させて頂いた技師長はじめ検査科のスタッフには本当に感謝しております。ありがとうございました。

地区会活動に関しては、理事を2期務めさせて頂きました。思いは前会報の理事退任の挨拶に書かせて頂いた通りです。

大学を卒業し、国立国際医療センターの非常勤職員となり、その僅か1ヶ月で私にとっては見知らぬ土地・新潟への急な異動は心身及び金銭的にも正直非常に辛いものがありました。しかし、ここまでどうにか挫けずに続ける事が出来たのも検査科スタッフや新潟地区会で共に働く仲間が存在がいたからです。今後はこの土地で得た経験を活かし、故郷である地元・山梨県職員として初心に振り返り頑張ります。国から地方へ身分は変わりますが、臨床検査技師としてやるべき事は変わりません。今後、学会等で会ったら声をかけてください。

今後の新潟地区会の益々のご発展をお祈り致します。本当にありがとうございました。



柳澤 賢司 技師

このたび故あって、さいがた病院を最後にNHOを去ることになりました。今まで勤務してきた施設とは色々な意味で何から何まで違い、面食らうことが多く毎日が悪戦苦闘でした。

今にして思うと「もう少し頑張れたら」「ここを上手く立ち回れたら」と後悔することが多かった22年でしたが、今までの経験を無駄にすることなく次の職場で奮起していけたらと思います。

短い期間でしたが、新潟支部の皆様お世話になりました。





新規採用者



国立病院機構
さいがた病院
臨床検査科

島田 朋幸 技師

この度4月1日よりさいがた病院、臨床検査科に新規採用となりました島田朋幸と申します。

はじめに、働く機会と環境を与えていただきました、独立行政法人国立病院機構に厚く御礼を申し上げますと共に、国臨協新潟地区会の一員になれましたことを、うれしく思っております。

また仕事をはじめひと月余りたちましたが、自分自身のさまざまな課題が見え始め、より一層やりがいを感じ、身の引き締まる思いが致しております。

私は長野県出身であり、19歳から23歳までパスタ専門店にて店舗責任者として4年間勤務致しました。その期間責任とサービスの大切さ、心構え、その他様々なことを学ばせて頂きました。少しでもその経験がなにかしらに役に立つことがあればと思っております。

パスタ料理等にご興味がある方がいらっしゃいましたら、いつでも気軽にお声をおかけ下さい。

私は小学生のころからバスケットボールをしており、体を動かすのも大好きですし、趣味の釣りは海が近いということもあり、早々と何回か行かせて頂き、とても満喫しております。

学生時代は生理機能の超音波にとっても興味を持っておりましたが、今はジャンルにとらわれることなく、常に問題意識と興味をもちながら仕事に取り組み、自分に慢心せず、常に向上心を持ち続けたいと思っております。

これから交流会や研修会に積極的に参加し、皆様にご指導をいただきながら新潟地区会に貢献していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



国立病院機構
さいがた病院
臨床検査科

田辺 恵梨 技師

国臨協新潟地区会の皆様、4月1日付で、さいがた病院検査科に新規採用となりました田辺恵梨です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、新潟県三条市の出身です。学生の時は、実家から新潟市西区にある新潟医療技術専門学校へ通っていたので、この度初めての一人暮らしとなりました。最初は不安でいっぱいでしたが、最近ようやく周りの環境にも慣れてきました。今までの自分を見つめ直す良い機会と思っています。週末になると車で2時間くらいかけて実家に帰っていますが、冬になると車の運転に神経を使わなければならない、それがちょっとした悩みです。

趣味は、現在探している最中です。何かいい趣味がありましたら紹介していただけると嬉しいです。

現在、さいがた病院では検体検査を中心に業務を行っていますが、勉強不足でわからないことがたくさんあり、スムーズに動けず検査室の業務の大変さを実感しました。また、私はちょっと抜けているところがありますが、業務に支障のないように、また皆様にご迷惑がかからないように注意したいと思います。

今後も向上心を失わず、目の前の課題に1つずつ取り組み、1日も早く仕事を覚え、テキパキとこなせるように頑張ります。そして新潟地区会の皆様に早く名前を覚えていただけるように地区会の活動にも積極的に参加していきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



6月29日(土)に新潟地区会交流会が開催されました

今年は弥彦山登山のあと弥彦神社を巡り、温泉に浸かりました。標高634mとさほど高くはない山ですが、眺望は最高でした。



高いところが苦手な人には無理かも(パノラマタワー)



展望台から10分ほど歩くと山頂に着きます。僅か10分歩いただけで息切れする者が続出しました。



日本海、越後平野を眼下に見下ろせます。(展望台での集合写真)



近頃パワースポットとして人気がある弥彦神社(鳥居前にて)



温泉のあとの懇親会。新潟といえ
ば海の幸。米もおいしかった...



展望レストランのツリーパフェ
...弥彦山標高634mにちなんで634円

新潟地区会交流会に参加して

平成25年6月29日、弥彦温泉にて新潟地区会交流会が行われました。

当日は弥彦山登山からの懇親会という近年稀にみる(?)アクティビティな交流会であり天気が気になるころでしたが、晴天とまでは言えませんが梅雨の時期にも関わらず天候に恵まれ、絶好の登山日和となりました。

弥彦温泉は越後一宮であり県内随一のパワースポットである弥彦神社の門前にあり、当日も県内外からの多くの観光客の方々に賑わっていました。

私は東京都西部の出身で幼少から何度となく高尾山や御岳山に登った事があり、この日はロープウェーで9合目まで登ったので山頂まで歩くのは余裕かと思ったのですが、普段の運動不足が祟ったのか20分程の登山でも息が上がりました。しかし、山頂から西を見れば広大な日本海、東を見れば米どころ越後平野という眺めは絶景でした。欲を言えば新潟に赴任して7年が経つにも関わらず訪れたことのない佐渡島が見たかったのですが、まあそれは新潟にいるうちに家族と実現させたいと思います。

絶景を堪能し、山頂にある御祭神にお参りをし、下山した後は1時間ほどの自由時間でした。参加されたほとんどの方々が温泉に入る中、私は「そんなに汗もかかないだろう」と登山を甘く見ていたので着替えもタオルも持ってきていないことを悔やみつつ温泉には入りませんでした。弥彦神社に参拝に行き、家族へのお土産を探す為に近隣のお土産屋をブラブラして地味に満喫していました(^_^;)

新潟病院の桑村技師長のご挨拶から懇親会が始まり、美味しい料理に舌鼓を打ちながら和やかな雰囲気の中交流を深めました。私自身交流会に参加するのは3年振りなのでお会いしたことの無い方もいらっしゃいましたが楽しく過ごさせていただきました。

今回の交流会を企画してくださった桑村会長を含め地区会役員の皆様、交流会担当施設である西新潟中央病院の皆様、お疲れ様でした。素敵な交流会をありがとうございました。

国立病院機構
さいがた病院
臨床検査科

千葉 雅裕 技師



新潟・旬の魚たち

新潟県内で釣れ、今が最もおいしいとされる旬の魚を紹介しました。
個人的にはシロギスの天ぷらが好きです。

シロギス



初夏の産卵期には岸近くの浅場に寄るので、この頃が釣りの好シーズン。場所によっては全長 30 cm に達する大物も狙える。シロギスの活動が最も活発になる水温は 20 ～ 25 ℃。底が荒れるとエサを追わない。上品な味の白身は天ぷらに最適である。20 cm を超えるものは刺身でも・・・。

キジハタ



美味しい魚として関西や北九州で特に人気があり、食通からの評価も高い。夏が旬であり、最大で全長 50 cm 位になる。40 cm を超える大物は魚市場で 1 キロあたり 3000 円 程で取引され、ヒラメよりも高い値がつくこともある。新潟県では沿岸の岩礁帯やテトラポット周りでよく釣れる。刺身、煮付け、塩焼きなど何でもOK。

スズキ



ルアーマンはシーバスと呼ぶ。出世魚で、関東では「セイゴ→フッコ→スズキ」と大きさが変わるたびに呼び名も変わる。釣れた時の引きは強烈で、時に水面からジャンプして針をはずそうとする。年間を通して釣れるが、夏は川にも遡上する。この時期はあらいが美味。また、ムニエルはこの魚の代表的な調理方法である。

タチウオ



体表にはウロコがなく、その代わりに全身が銀色に輝くグアニン質の層で覆われている。このグアニン色素は人工真珠の着色にも使われている。魚の外観が太い刀に似ていることより、太刀魚(タチウオ)と名づけられたとする説がある。肉は柔らかく、塩焼きや煮付け、唐揚げなどなんでも美味しく食べられる。

マゴチ



コチの仲間では大型種で、全長 60 cm 前後になり、ナマズを少し平らにした風貌である。シロギスなどを捕食する肉食魚で、内湾ではイケス周りなどヒラメと似たような場所にすみつき、同時に釣れることがよくある。「照りゴチ」と呼ばれるように真夏が旬の魚で、あらいは特に美味。

ベラ(雌)



土地によってのこの魚に対する扱いがガラリと変わる。関東では釣れてもほとんど持ち帰ることはない。毒々しい色彩のためか、食べる人はいない。ところが、関西方面ではギザミと呼んで専門に釣る人も多く、関西料理には欠かせない高級魚になっている。食べたことはありませんが、煮付けにすると美味しいらしいです。

会員からの投稿写真

会員の方々から投稿していただいたワンちゃんの写真を掲載しました。
次回はどんな投稿があるでしょうか・・・



新潟病院・南雲技師のダックス達です。上の写真のモモちゃんは、ボール遊びが大好きで良く寝る子だそうです。下の写真のココちゃんは、元気な頃の写真です。今は天国でモモちゃんを見守っています。



西新潟・霜田技師のワンちゃんです。家族以外には決して気を許さない忠犬です。



五泉市忠犬桜タマ吉

「五泉市忠犬！桜タマ吉」です。その昔、雪崩から主人を2度も掘り出し、命を救った村松の伝説的忠犬「タマ公」をモチーフとした新潟県を代表するゆるキャラです。誕生日は11月1日(犬の日)です。



新潟地区会今後の予定

- ・第41回国臨協関信支部学会「地区会コーナー」ポスター展示(9月7日)
- ・第3回理事会(10月初旬)
- ・第33回新潟地区定期総会、研修会(11月16日または11月23日)
担当施設:さいがた病院

事務局より

新潟地区会の皆様、毎日蒸し暑い日が続いていますが、いかがお過ごしですか？体調管理を心掛け、これからの夏本番を乗り切りましょう。この地区会報が発行される頃には、国臨協関信支部学会地区会ポスターの製作に取り掛かっています。今年こそ1位を獲得しましょう。会員の皆様のアイデアをお待ちしています。(H・N)

新潟地区会事務局
NHO新潟病院臨床検査科内
TEL : 0257-22-2126(内線3352)